

盛岡地区交流会要綱

日時：２０２６年９月２３日（水）１３：３０～１５：３０

場所：アイーナ６階団体活動室２

参加：端坂支部長

７名

内容：

１．挨拶

端坂支部長

２．パーキンソン病を学ぶ

パーキンソン病の非運動症状について配布資料で説明

３．自己紹介・現況・困っていること

Aさん

５月１０日の武田 篤先生の医療講演会で日中の眠気はハルロピテープの副作用が考えられると

説明を受けたことを主治医に伝えた。３２ｍｇが２４ｍｇに減薬されたが日中の眠気は変わらず強く、日常生活に支障をきたしている。

端坂

ハルロピテープが２４ｍｇに減薬されて、歩き難さ等運動症状が悪化しましたか。運動症状の悪化がみられないならば、さらにハルロピテープを減薬できるのではないかと。主治医に「２４ｍｇに減薬しても運動症状の悪化がみられない。強い眠気も変わらずある」と伝えれば良いと思う。

Bさん

娘はリハビリを頑張っている。若年性のためなのか今までできなかったことが出来るようになってきている。できるようになることでもっと頑張ろうと良い循環になっている。

Cさん

神奈川に住む息子が身体障害者手帳２級がとれそうである。障害者手帳が届いたら障害者雇用で無理なく続けられる仕事を見つけて転職する予定である。

端坂

障害者手帳２級がとれるのなら、障害年金申請も進めた方が良いでしょう。私は以前、神奈川支部会員だったが、社労士が障害年金申請の相談会を定期的に開催していたので、神奈川県支部の会員になってはどうか。同病者と話が聞けるし、パーキンソン病の障害年金申請に詳しい社労士を紹介してもらえと思う。

Dさん

不景気のため、同僚が次から次へと辞めていく。次は自分の番かと心配になる。今、６３歳で年金がもらえる６５歳まで２年もある

端坂

支給額は減るが６０歳から年金受給できる。６０歳で受給した場合と６５歳受給の分岐点は８０歳である。パーキンソン病の場合先を予測できにくいため、私は６０歳から年金を受給している。今の仕事をいつまで続けられるか不安ならばすぐにでも年金を受給したほうが良いと思う。

次回予定

日時：２０２６年１１月１８日（水）１３：３０～１５：３０

場所：アイーナ６階団体活動室２